

「3つのかずのけいさん～何人になるかな～」

指導者 吉原 千恵

1 日時 令和2年10月2日（金）

2 学年 第1学年2組 30名

3 単元について

(1) 単元観

本単元では、これまでに学習した1位数どうしの加減計算（繰り上がり，繰り下がりなし）の仕方に着目し，活用する。3つの数の加減の式の表し方や計算の仕方を2つの数の加法や減法の意味や計算の仕方を基にして考え，それをを用いる力を育てることをねらいとする。

これまで児童は，1から10までの数について，具体物を使い個数を比べたり，個数を正しく数えたりすることを学習してきた。またお話作りを通して，文書を読み取り，式を読み取ったり，式に表したりすることも学習してきた。数量の関係に着目し，計算の意味や計算の仕方を考え，日常生活に生かす力に繋げていく。

(2) 児童観

たしざん・・・95%

ひきざん・・・88%

たしざんの文章読み取り（図）・・・85%

（立式）・・・90%

ひきざんの文章読み取り（図）・・・81%

（立式）・・・85%

レディネステストの結果から，10までのたしざん，ひきざんについては，多数の児童が確実に計算することができているが，たしざんを引いたり，ひきざんを足したりと，混乱している児童もいる。ひきざんが苦手な児童が多くみられる。また，文章の読み取りについても，文章をしっかり読み取らず，数字だけを読み取って立式しており，立式はできているが図で表すことが苦手な児童が多くみられる。また立式についても，加法を減法にしていたり，その逆をしていたりする児童もいる。

(3) 指導観

子供が問題意識をもつ「課題設定」の工夫

問題掲示の際に，児童のなじみのある具体物を使って，興味を持たせる。前時までの学習との違いに気付かせ，既習を使って解決できる方法は無いか，前時の振り返りをしながら考えさせていくようにする。

数学的な見方・考え方を働かせ，理解を深めるための工夫

ブロックを操作する時間を十分に設定し，数量の増減の様子や計算の仕方を実感しながら理解できるようにする。加法や減法が用いられる3つの具体的な場面を式に表す過程で，ブロック等の具体物を操作する活動を多く設定する。また，式に表したり計算の仕方を考えたりする過程をブロック等を使って友だちと説明しあう活動を，意図的に設定する。そうすることで，理解が深まることや，言葉，具体物の操作，図，式などを使った表現力が高まることが期待される。

みんなの前に出たり，ペアになったりして，説明しあうことで理解を深めるとともに，言葉や具体物の操作，図，式を使って計算の過程を表現する力の育成を図る。

統合的・発展的な考え方が表れる「ふりかえり」のための指導

既習内容をカード化し、掲示する。授業の中でも常に見られるようにし、キーワードを取り上げ、繋がりが意識できるようにする。また、まとめに繋げ、ふりかえりに生かせるようにする。

(4) 単元の指導計画 (全3時間扱い)

時	学習活動	評 価				
		知	思	態	評価規準	評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> ・「加・加」の場面を順番に見て、言葉で表現する。 ・ブロックで増える様子を説明し合う。 ・ブロックを操作しながら立式する。 ・計算の仕方を確かめて、答えを求める。 	○		・	<ul style="list-style-type: none"> ・「加・加」の場面を捉えて、説明することができる。 ・ブロックを操作して立式することができる。 	評価問題 ふりかえり
2	<ul style="list-style-type: none"> ・「減・減」の場面を順番に見て、言葉で表現する。 ・ブロックで減る様子を説明し合う。 ・ブロックを操作しながら立式する。 ・計算の仕方を確かめて、答えを求める。 		○	・	<ul style="list-style-type: none"> ・「減・減」の場面を捉えて、説明することができる。 ・ブロックを操作して立式することができる。 	評価問題 ふりかえり
3	<ul style="list-style-type: none"> ・「減・加」の場面を順番に見て、言葉で表現する。 ・ブロックで増える・減る様子を説明し合う。 ・ブロックを操作しながら立式する。 ・計算の仕方を確かめて、答えを求める。 		○	・	<ul style="list-style-type: none"> ・「減・加」の場面を捉えて、説明することができる。 ・ブロックを操作して立式することができる。 	評価問題 ふりかえり

4 本時について

(1) 本時の目標 (第3時/全3時)

3つのかずのけいさんを場面を捉えて立式することができる。

(2) 評価規準

「減・加」の場面を捉えて、立式することができる。

(3) 本時で目指す子どもの姿

○数学的な見方・考え方

- ・既習内容から、「ふえる」場面なのか「へる」場面なのかを捉える。
- ・3つの数のたしざん・ひきざんも1つの式で書いて計算することができる。
- ・前から順番に計算する。

○ふりかえり



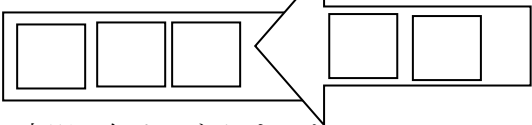
- ・人が入ってくると「増える」から、たしざん、出ていくと「減る」からひきざんになる。
- ・3つの数のたしざんとひきざんが混ざっていても一つの式に表すことができる。
- ・たしざんとひきざんが混ざっていても、前から順番に計算する。

(4) 本時の学習展開

学習活動	○主な発問や指示 ・予想される児童の反応	◇指導上の留意点 ◎評価（評価方法）
1 前時までの既習内容を振り返る。	<p>○昨日までにわかったことを振り返ってみよう。どんなお話だったかな？(絵を見せる。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねこがバスに乗っていた。 ・「のる」ふえるときはたしざんを使った。 ・「おりるへるときはひきざんを使った。 ・一つの式に書ける。 ・前から順番に計算していくことが大事。 	<p>◇絵を1コマずつ見せておりる場面とのる場面があることを確認する。</p>

ないやに いる にんずうは なんにんかな。

見方・考え方

<p>2 学習問題1を解く。</p>	<p>○お話に合わせて、ブロックを動かしてみましよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨日とちがう。 ・たしざんもひきざんもあるね。 ・内野に6人います。 <div style="text-align: center;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ・3人、当たって外野に出ました。 <div style="text-align: center;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ・2人、内野に入りました。 <div style="text-align: center;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ・内野は何人になりましたか。 <p>○1つのしきに かきましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ $6 - 3 + 2 = 5$ はじめに6人いました。まず3人出たので、$6 - 3 = 3$で3人になります。次に2人入ってきたので、$3 + 2 = 5$で5人になります。このふたつの式をつなげました。 ・ $6 - 3 + 2 = 5$ はじめに6人いました。まず3人出て、次に2人入ってきたので、順番に計算して、$6 - 3 + 2 = 5$で5人になります。 ・減ったり、増えたりしてよくわからない。ブロックケースを使ってブロック操作をする。 	<p>◇3コマの絵を黒板に掲示し、それに合わせて順番にブロック操作をさせることで、増えると減るの二種類があることを確実に抑える。</p> <p>◇「入る」と「出る」の言葉に注目させる。</p> <p>◇1つの式に表すときにも、もう一度「入る」と「出る」の言葉に注目させる。</p>
--------------------	--	--

	<p>○3つの数の加減混合計算の場合も、これまでと同様に前から順に行うことを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前から順に計算します。 $5 - 3 = 2$, $2 + 4 = 6$です。 ・2つの式で表したときと、同じ計算になっています。 ・「たすたす」「ひくひく」のときと同じです。 	
<p>3 計算の仕方を確かめ、まとめる。</p>	<p>○ここまでの学習をまとめよう。</p> <div data-bbox="461 589 1106 689" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ひとが入ると「ふえる」から、たしざん。 出ると「減る」からひきざんになる。</p> </div>	
<p>4 学習問題2を解く。</p>	<p>○ここまで学習したことを確認するために、問題を解きましょう。</p> <p>○みんなの大好きなふーちゃんがバスに乗っています。絵を見てお話を考えてみよう。</p>	<p>◎話の場面を捉えることができている。</p> <p>◎1つの式で書いて、前から順番に計算することができている。 (評価問題)</p>
<p>5 ふりかえりを書く。</p>	<p>○今日の学習を振り返りましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「たす」「ひく」が混ざっていても1つの式に書くことができることが分かった。 ・1つの式に書くことができたなら便利だな。 ・「たす」「ひく」が混ざっていても、前から順番に計算することが分かった。 	<p>◇ふりかえりの視点を与えて書かせる。</p>